

國際經濟週報

新新聞聯合社發行



1 (No. 469)

昭和四年一月十九日發行

第十卷 第一號

(大正九年十月九日第三種郵便物認可)

歐米產業界大觀

生氣みなぎる合理化の具現時代

新年の世界を見わたすに、アメリカは正月早々に一段と活況を呈し、ヨーロッパも亦復興の勢ひを示してゐる。獨佛の躍進、英伊の努力、どこを見ても人心が緊張してゐる。アメリカやヨーロッパのみではない。隣邦支那も戦亂漸く治り今や經濟的建設の首途に在る。英米獨の對支輸出増進は明に之れを物語つてゐる。——斯うした世界である。日本も顧るところあれと言ひたくなる。

アメリカの繁榮

アメリカの繁榮は最早判りきつた事て今更事新しく言ふがものはない。本年は有爲な新大統領を得て益々よくなるであらう。ただアメリカの景氣は少し日本と違ふところがある。日本で好景氣といへばやたらに物が高くなる。然しアメリカではそんなことはない、品によつては却つて安くなるくらいである。日本で好景氣といへば直きに暴利をむさぼる商人が出て來るがアメリカでは Profitless Prospects といふ新熟語さへ出來た程である。薄利多賣主義で良い品を安く供給するといふのが目標となつてゐる。そして給料や賃銀は出來るだけ餘計に出す、其の上之餘暇をも與へ勤勞階級の購買力を高めるといふのが雇主側の遣り口である。勿論からせねば折角大量に生

生糸の消費

自動車や鋼鐵の生産高、電動供給高、レーヨンの生産高、斯うしたものは昨年九月末か、遅くも十一月末には既に前年一ヶ年間の數字を突破してゐる。然るに生糸の消費高は十二月分を加えても前年とくらも違はない。此の原因

産したものが賣れて行かない。それから何事にも新陳代謝を盛んにし、機械はドンドン新しいのを入れる、人間も若い新人を登用するそれで一方に於ては無駄を省くことを怠らない。近來眞面目な調査や研究が非常に進んで來た、殊に統計に至つては驚くべき程整つて來た。だから自然見込み違ひや思惑はづれが少なくなつて來た譯である。萬事が斯うした好景氣である。決して浮かれた調子ではない。目標があり、統制があり、活氣が溢れてゐる。

米國とヨーロッパ

米國好景氣と言へば生糸が賣れるだらうといふのが普通の觀察である。ところが統計をこつて見ると其の割合には賣れてゐない。一昨年の生糸消費高(工場引取高)は五十五萬一千俵であつた。昨年は五十七萬一千俵で僅に二萬俵の増加に過ぎない。女天下のアメリカである、素人の慾目かは知れぬが好景氣ならもつと生糸の消費が増加しそうなものである。

そして誰れしも考へるのはレーヨンの進出である。生糸とレーヨンの關係は恰度鐵道と自動車の如きものであらう。景氣がよいといふにアメリカの鐵道は収益が減つて來た。これは恐らく自動車普及の影響であらう、勿論今後とも鐵道が全然立ちゆかないやうにはなるまい、が然し鐵道は自動車に押され勝ちとなるであらう。兩雄併び立たずといふ程の事はなくともレーヨンの進出に壓迫されて生糸が高くも賣れず餘計にも出ないのは困りものである。アメリカの景氣も日本にこつては結局糖喜びに終るのか。

本誌索引

本誌索引 毎號同種目下連載するものは省略す

本誌附録として贈呈

本誌附録として贈呈

(每週一回土曜日發行・每號十頁)

▲歐米產業界大觀

- 自動車展覽會の開催と本年の自動車生産豫想 三
- 無電會社と蓄音器會社合同 三
- 十二月中の手形交換高 三
- ニューヨーク株式活況 三
- 銅相場騰貴と銅株躍進 三
- 十二月株式債券出來高 三
- 株式仲買人貸付高激増 三
- 十二月中の銀塊積出高 三
- 同生系集積統計 三
- 電氣タービン船建造 三

歐洲

- 製鐵界の近況 三
- 甜菜糖生産豫想 三

米國

- 昨年下半年期分合本用 三

英國

- 新年の產業界 三
- 二八年の起債額 三
- 十二月末の金物在庫高 三
- 正味四十八時間労働制 三
- ランカシア織物會社設立確定 三
- マツカラ氏の逝去 三

獨逸

- 新年經濟界觀測 三
- 造船争議終息 三
- 賠償四年度報告 三

印度

- 伊國—イタリー銀行利上げ 三
- 新公債の發行 三
- ガンデー主義決議 三

馬來

- 十二月ゴム輸出額 三
- 十二月まで砂糖賣約高 三
- 二九年産糖賣約 三

世界 十二月錫供給高及引渡高 三
過去十五年棉花相場 三

A4 8

歐産業界大觀

(前頁より續く)

米國と歐洲との經濟關係には未だ戰債問題が残つてゐるが、これは長くなるから略すとして、次にヨーロッパ諸國の形勢を觀察して見やう。

ドイツの復活

何と言つても偉い國はドイツである、然しドイツが今日の様に復活した根本の原因は彼の巨額な賠償金である。あれを男らしくキツパリと支拂ふ覺悟を決めた時が即ちドイツ復興のスタートを切つた時である。戰に負けて惨めな姿になつたドイツが無限大の賠償金を支拂ふには到底尋常一様の手段ではいけない。詳しい事は略すがドイツは賠償金を拂ふ爲に生産を大々的に増加せねばならぬと考へた。そしてアメリカに何回となく視察團を送り大量生産の方法を研究させた。それが彼の Rationalisierung、即ち産業の合理化となつて現れて來たのである。然し戰争で引くかへつた産業を近代的な様式にして建て直すには莫大な資金が要る。ドイツはそれを外國から借りた。今日でも猶ほ借金の上に借金を重ねてゐる。昨年の上半期だけでも十億マーカーも借りた。其の七割以上はアメリカから得た資金である。勿論賠償金に拂つた金よりも借りた金の方が遙に多い。

斯うして借りた金をフンゲンに使つて産業の合理化を行つたのである、産業の組織が一新したのは言ふまでもないが、それと同時に

國內に非常な景氣が出た。人口は年々五十萬も六十萬も殖える、各種の生産は増進する、石炭や鐵の産額はヴェルサイユ條約で産地の一部を失つたにも拘らず最早戰前近くの數量に達してゐる。それにイギリスの炭礦ストライキはドイツにこつては又さもない好機會であつた。其の虚に乗じてドイツは海外市場に進出した。又産業の建て直して勤勞階級がうるほひ、彼等の購買力が非常に増加した、石炭、砂糖、ビール、煙草等の消費が激増したのはこれが爲めである。一方國民の貯蓄も跳躍的に殖えた。一九二四年末に六億マーカーであつたものが、昨年一月には五十億マーカー、今日ではそれが更に六十億マーカーになつてゐる。

このころで、ドイツの計畫は借金をして生産機關を合理化し、それを賠償金を拂ひ又借金も返そうと云ふのである。だから單に借金景氣で國內にホーム・ブームが起つただけでは仕方がない、ドイツ品が盛に海外に賣れて外國からウソト金が入つて來なければならぬのである。然しドイツの貿易は未だ入超である。一昨年の如きは四十億マーカーに近い大入超であつた、原料品の輸入が多かつたからである。棉花を一年に百五十萬俵も輸入する、銅の輸入も大きなものであつた。所が昨年は此の入超が著しく減つた。結局輸出百億、輸入百三十億といふ見當であらう。三十億の入超では未だ容易な事ではない。その上に賠償金を二十五億マーカーも拂はねばならぬ、尤も此の内七億ぐらゐは實物賠償と言つて品物で渡すのであるから之れは

フランスの産業

一種の輸出と見てもよい。其の代りに又借金の元利拂ひがどうして年々に七億近くはある。兎に角右の如く大きなマイナスを背負つて立つて行くのであるからドイツは偉い國である。石炭、鐵、其の副産物、染料肥料、其他の化學製品、人造絹糸等々々、盛んに生産し、盛んに賣つて賠償金を借金も見ん事立派に拂つて見せると云ふのが、新興ドイツの意氣込みである。

新年のドイツ經濟界觀測

近來ヨーロッパを見て來た人は頻りにドイツに感心してゐる。ドイツの經濟界觀測は、一月三日(木)ベルリン商業會議所は舊臘廿九日恒例により一九二八年の年報を發表したが、昨年のドイツ經濟界の大勢並に新年の觀測に關し左の如く記してゐる。

一九二八年のドイツ經濟界は可成り陰鬱なる推移を示した。これを特徴づけるものは工業界の活氣減退、内地需要の萎縮、生産費の昂騰等である。而してこれ等のよつて來る原因は租税の過重、ツの産業の目覺しい復興振りは勿論感嘆に堪へないが、フランスの産業がドイツ以上に恢復してゐる事を何故モット吹聴せぬのであらう。裸女の亂舞するパリーの盛り場のみがフランスではない。

フランスは戰争中にドイツ軍の侵入を受けて北部東部の工業地帯を奪はれた。それが爲めに戰争中國民の生活必需品や軍需品を他の地方で造らねばならぬ破目となり、各地の工場に新しい大規模な設備を加へた。之れがフランスの産業をして今日の隆盛に向はせる第一歩であつた。

フランスの産業

次は戰後に北部東部の工業地帯を取戻した事で、其の復興によりフランスの産業は第二段の大發展を遂げた。炭礦、製鐵、其の副工業、化學工業、各種の纖維工業、硝子工業、製糖等の諸事業が目覺しい勢ひで建設された。戰争で荒野原に化した工業地が五、六年の内に新規時直して戰前とは比較にならない程立派なものになつた。アメリカの最新式な工場と同じやうに總てが機械の力で動く近代的な大設備が出来たのである。ドイツと言ひ、フランスと言ひ、彼等の生産組織は戰後に全く面目を一新したのである。

それからフランスは普佛戰争で失つたアルサス・ローレンをも取り戻した、これでフランスに於ける鐵礦の供給は戰前の倍になつた、アルサスには紡績機械が二百萬錘もある。戰後之れもフランスのものになつた、アルサスには毛糸の工場もある、然し斯様な事を一々列べ立てゝゐては際限がない。兎に角フランスの産業は戰後に於て大に其の生産能力を増加したのである。之れにはドイツから取つた實物賠償も大に役に立つてゐる。然しフランス政府も随分と大きな

金を入れたのである。荒廢地の復興費は總計一千億フランに及ぶと云ふ。之れが爲に紙幣の増發を餘儀なくされ、フラン相場の下落を來した。政府の財政も亦非常に困難になつた。一九二〇年から一九二六年までに内閣が十何回も更迭したのは之れが爲に外ならない。財政難で屢々政變が起るものだから、一般の新聞讀者は勘違ひしてフランスは國を擧げて貧乏のどん底に落ち込んだと思つたらしい。然し財政難は政府だけの事で國民は大して窮してゐなかつたのである。それであるから一九二六年にポアンカレの擧國一致内閣が出来ると間もなく大増税を斷行し一擧にして財政難を整理してしまつた。その増税は一九二六年の後半に於て二十五億フラン、一九二七年に於て九十億フランと云ふのであつた。財政の基礎が固るごつランも安定した。フランスの下つた事も亦大に産業の發展に貢獻した輸出が増進したからである。昨年フランス政府はフランの價値を戰前の五分の一に切り下げて、金解禁をも斷行した。

さて最近のフランス産業界はどんな有様であるかといふに着々として産業の合理化を行つてゐる。即ち事業を合同し、スケールを大きくし、設備を新しくし、總てアメリカやドイツに比し毫も遜色がないやうになつて來た。試みに生産の増加を鐵に就て見るに次の通り實に素晴らしい成績を示してゐる。

戰前平均	輸入	輸出
一九二四年	七、七六	六、三三
一九二五年	四、二五	四、三三
一九二六年	四、五三	四、五三
一九二七年	五、九八	五、九八
一九二八年	五、八五	五、八五
(二八年は九月迄)	三、七六	三、七六

昨年九月までの所では入超となつてゐるが、然し最近の形勢として注目すべきは需要の多い普通品が大量に輸出されることである。これは産業の合理化に依り標準化された品物の大量生産が行はれてゐるからである。各種のフランス製品に亘り其の輸出先を調べて見るとイギリスへ可なり多く出て行く、そしてイギリスには百何十萬人といふ失業者がある、フランスにはたつた六百八十一人(昨年九月調)しかない。

貿易のバランスの外に漫遊客の落して行く金が大したもののである。正確な調査はないが邦貨にして年に五億圓乃至十億圓は旅行者がフランス各地にバラまいて行くらしい。フランス政府はホテル等の設備改善に努力し此の貿易外の収入を増加することに骨折つてゐる。

歐米 産業界大觀

イタリアの陣容

『尾張名古屋は城で持つ』といふのは昔の事であらう、然し今のイタリアは確にムツソリーニで持つてゐる。彼のファシスト政治は極めて不愉快なものであるが、然しながら彼の力で漸く立ち直つたイタリアである。彼は頭はあがらない。ムツソリーニの産業政策は近世の國家組織に一つの變つた形式を提供したもので、勞資協調を極端に強制したものである。即ち紡績業ならば全國の紡績會社を一つの組合に加入せしめ、之れを雇主側の團體とする、と同時に全國の紡績従業員をして別に一つの組合を作らせ、之れを勞働者側の團體とし、双方共に國家に於て之れを公認し、國家の監督の下に勞資協調して産業の經營に當るといふ仕組である。資本家の天下でもなければ勞働者の獨裁政治でもない、勞資双方五分五分の力で押して行かうと云ふのである。之れを勞資の平行主義(Parallelism)と謂ひ、又斯うした國家の組織をギルド・ステートと呼んでゐる。組合の数は全國で四十九ある。之れに加入してゐる會社の数が六萬六千五百七十七、そして従業員は百七十五萬人に及んでゐる。之れ等を全部引くためてファシスト産業總聯盟と稱し、ムツソリーニが其の牛耳をとつてゐるのはいふまでもない。イタリアの産業は右の如き陣容になつてゐるのである。昨年六月二

十二日に此の産業總聯盟の最初の大會が開かれ、ムツソリーニが長廣古を振つた。此の組織が今後果してどれだけの實績を示すか、それは本年大に注意すべき問題の一つであらう。兎に角此の勞資平行主義が實施されて以來、イタリアに於てはストライキのロックアウトの云ふ勞資の争ひは絶無となつた。

産業の合理化はイタリアに於ても着々として實行されてゐる。その企業集中、生産費の低下が實現されてゐる。政府もそれを大に奨励し、昨年中に海運、水力電氣、化學工業、纖維工業、レーヨン等の大合同が行はれた。又自動車製造其他の機械工業にも合併談が起つてゐる。

イギリスの覺醒

餘りの長談義になつたから、もう止めやうと思ふが未だイギリスが残つてゐる。イギリスは最早駄目だなどと簡単に考へてゐる人は昨年の貿易を見て貰ひたい。即ち昨年は一昨年に較べ輸出増、輸入減で入超が次の如く少くなつた。

一九二七年入超 三三八、〇一〇千ポンド
一九二八年同 三五三、三五〇

イギリスも他の國に奪はれた市場を取戻さうと必死になつて努力してゐる。然しそれは容易なことではない。ドイツやフランスの方がイギリスよりも新式な設備と大きな組織を持つてゐる。それに氣をついたイギリスは昨年あたりから熱心に産業の合理化を唱導し、禮讃し始めた。空題目のみでなく着々として實行に取りかゝり既に

新年のイギリス産業界

産業組織の建直しを期待する

幾多の重要な合同が出来た。炭礦製鐵、紡績の如き舊い産業は兎角振はないが、人絹、化學工業、其他の新しい産業は好成績を示してゐる。貿易改善の跡を辿つて見ると紡績機械、裁縫マシン、機關車自動車といふやうなもの、輸出が増加してゐる。

イギリスの産業には機械や組織が舊式だといふこと以外に今一つ大きな痛があつた。それは勞働問題である。しかし此の方は勞資双方共大に悟る所があつて漸く改善の緒についた。メルチエツト卿(元モント氏)の産業平和運動がそ

れてゐる。イギリスの産業が他國を壓してゐる間はイギリスも堂々自由貿易主義で押し通して来たが、他國の競争に苦しめられる今日となるに密に保護政策を希ふ者も少くない。現在の保守黨内閣も保護政策をこらんとしてゐる。然しそれは次の總選舉に於て國民の意思を確かめてからの事である。此の意味に於て来る六月の總選舉は非常に注意を要する。

イギリスは覺醒した、イギリスは緊張して来た、これだけの事は言へる。

英支貿易

鶴首して待たれてゐる。一方最近成立した英支新條約がの將來に及ぼすべき影響について誇大なる期待を抱くものは少いが、しかし最近一兩月に於ける兩國間の親善の増進及び顯著なる貿易改善の徴候は將來に對する期待を一段ご鼓舞するに十分なものである。毛織物業の將來は警戒的氣分を以てみられてゐる。これは昨年の業績が面白くなかつたからである。しかし過般來の毛織業者の保護要請に對し政府が近く審議を始めること傳へられることは好感を以て迎へられてゐる。

米國經濟界

○自動車生産豫想

恒例の自動車展覽會開催
ニューヨーク一月五日(土)

例年開かる、自動車展覽會は五日よりニューヨークに開催されたが、四十六の自動車會社より出品された自動車は三百餘種に上り目下非常な評判となつてゐる。但し出品自動車中別にこれといふ新型もなく、構造に於ても且つ又價格に於ても前年と何ら變化がない。

なほ自動車製造會社では本年の自動車生産高は五百萬臺を下るまいと見てゐる。因にアメリカ現在の自動車登録数は二千五百萬臺で五人に對し一臺の割合であるが、生産者側はアメリカでは未だ自動車の吸収力がいくらもあると確信してゐる。

○無電會社と蓄音器會社の合同

ラデオ・コーポレーション・オヴ・アメリカとグレイクスター蓄音器會社との間に豫てから合同問題が起つてゐたが、今回いよいよその計畫が熟し合同案は右兩會社の重役會の承認を得るに至つた。

○十二月中の手形交換高

大激増を示す
ニューヨーク一月五日(土)

ファイナンシャル・クロニクル誌調査、昨年十二月中のアメリカ手形交換高は左の通り激増を示してゐる。

全アメリカ 六、〇六、〇〇〇、〇〇〇
内ニューヨーク 三、三六、〇〇〇、〇〇〇

年	十二月	一月以降累計
一九一八年	三、〇八〇	三三、〇五〇
一九一九年	三、三六四	四七、六五〇
一九二〇年	三、七三三	四九、一〇三
一九二一年	三、三〇九	三三、〇二九
一九二二年	三、四五六	三三、〇二九
一九二三年	三、六八五	三三、〇二九
一九二四年	四、〇九六	四三、〇二九
一九二五年	四、〇四二	四三、〇二九
一九二六年	四、七六五	五三、〇二九
一九二七年	五、五九四	五三、〇二九
一九二八年	六、〇六六	六三、〇二九

月	全アメリカ	内ニューヨーク
一月	五、五九四	三、〇二九
二月	四、〇六五	二、六八五
三月	五、五九四	三、〇二九
四月	五、五九四	三、〇二九
五月	五、五九四	三、〇二九
六月	五、五九四	三、〇二九
七月	五、五九四	三、〇二九
八月	五、五九四	三、〇二九
九月	五、五九四	三、〇二九
十月	五、五九四	三、〇二九
十一月	五、五九四	三、〇二九
十二月	六、〇六六	三、〇二九

(昭和四年一月一日—五日發信)

株式相場

一月	二月	三月	四月	五月
日(火)	日(水)	日(木)	日(金)	日(土)
休	休	休	休	休
スチール	スチール	スチール	スチール	スチール
鉄道株	鉄道株	鉄道株	鉄道株	鉄道株
工業株	工業株	工業株	工業株	工業株
モンゴメ	モンゴメ	モンゴメ	モンゴメ	モンゴメ
ラヂオ	ラヂオ	ラヂオ	ラヂオ	ラヂオ
コーション	コーション	コーション	コーション	コーション
ゼネラル	ゼネラル	ゼネラル	ゼネラル	ゼネラル
モーター	モーター	モーター	モーター	モーター
出高	出高	出高	出高	出高

公社債相場

一月	二月	三月	四月	五月
日(火)	日(水)	日(木)	日(金)	日(土)
休	休	休	休	休
日本六	日本六	日本六	日本六	日本六
同第二	同第二	同第二	同第二	同第二
同四分	同四分	同四分	同四分	同四分
東京市	東京市	東京市	東京市	東京市
横浜市	横浜市	横浜市	横浜市	横浜市
東拓	東拓	東拓	東拓	東拓
東電	東電	東電	東電	東電
大同	大同	大同	大同	大同
東邦	東邦	東邦	東邦	東邦
分利	分利	分利	分利	分利
附	附	附	附	附
英貨	英貨	英貨	英貨	英貨

金銀塊相場

一月	二月	三月	四月	五月
日(火)	日(水)	日(木)	日(金)	日(土)
休	休	休	休	休
倫敦	倫敦	倫敦	倫敦	倫敦
紐約	紐約	紐約	紐約	紐約
孟買	孟買	孟買	孟買	孟買
倫敦	倫敦	倫敦	倫敦	倫敦
紐約	紐約	紐約	紐約	紐約
孟買	孟買	孟買	孟買	孟買

外國替相場

一月	二月	三月	四月	五月
日(火)	日(水)	日(木)	日(金)	日(土)
休	休	休	休	休
倫敦	倫敦	倫敦	倫敦	倫敦
紐約	紐約	紐約	紐約	紐約
孟買	孟買	孟買	孟買	孟買
倫敦	倫敦	倫敦	倫敦	倫敦
紐約	紐約	紐約	紐約	紐約
孟買	孟買	孟買	孟買	孟買
倫敦	倫敦	倫敦	倫敦	倫敦
紐約	紐約	紐約	紐約	紐約
孟買	孟買	孟買	孟買	孟買

金物相場

一月	二月	三月	四月	五月
日(火)	日(水)	日(木)	日(金)	日(土)
休	休	休	休	休
倫敦	倫敦	倫敦	倫敦	倫敦
紐約	紐約	紐約	紐約	紐約
孟買	孟買	孟買	孟買	孟買
倫敦	倫敦	倫敦	倫敦	倫敦
紐約	紐約	紐約	紐約	紐約
孟買	孟買	孟買	孟買	孟買

倫敦 紐約 孟買 倫敦 紐約 孟買

倫敦 紐約 孟買 倫敦 紐約 孟買

倫敦 紐約 孟買 倫敦 紐約 孟買

(昭和四年一月一日—五日發信)

大連特產

一月 豆 豆 豆 豆 豆
日(土) 日(金) 日(木) 日(水) 日(火)

Table with columns for '豆' and '粕' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week. Includes prices and '休' (closed) indicators.

Table for '大豆' (Soybeans) with columns for '豆' and '粕' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for '大豆油' (Soybean Oil) with columns for '油' and '粕' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for '銀' (Silver) with columns for '票' and '銀' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for '海上小麥粉' (Sea Flour) with columns for '粉' and '麥' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for '大阪米' (Osaka Rice) with columns for '米' and '期' and rows for months (一月 to 三月) and days of the week.

小麥相場

一月 市 俄 古
日(土) 日(金) 日(木) 日(水) 日(火)

Table for '古市' (Old Market) with columns for '市' and '俄' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for 'トヤシ' (Toshi) with columns for 'ト' and 'ヤシ' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for 'ドナトーボ' (Donatob) with columns for 'ド' and 'トーボ' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for 'グツベニウ' (Gutsubeniu) with columns for 'グ' and 'ツベニウ' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for 'ルーブアヴリ' (Rubavri) with columns for 'ル' and 'ブアヴリ' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for 'メルボルン' (Melbourne) with columns for 'メ' and 'ルボルン' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

護謄相場

一月 倫 敦
日(土) 日(金) 日(木) 日(水) 日(火)

Table for '倫敦' (London) with columns for '倫' and '敦' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for '新嘉坡' (Singapore) with columns for '新' and '嘉坡' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for '油' (Oil) with columns for '油' and '相' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for '倫敦亞麻' (London Flax) with columns for '倫' and '敦' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for '甲谷陀麻袋' (Kaguta Flax Bag) with columns for '甲' and '谷陀麻袋' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for '鐵筋' (Reinforcing Bars) with columns for '鐵' and '筋' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

砂糖相場

一月 紐 育
日(土) 日(金) 日(木) 日(水) 日(火)

Table for '紐育' (New York) with columns for '紐' and '育' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for '倫敦' (London) with columns for '倫' and '敦' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for 'ヤバラス' (Yabaras) with columns for 'ヤ' and 'バラス' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for '大阪' (Osaka) with columns for '大' and '阪' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for '大阪' (Osaka) with columns for '大' and '阪' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for '大阪' (Osaka) with columns for '大' and '阪' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

生絲相場

一月 紐 育
日(土) 日(金) 日(木) 日(水) 日(火)

Table for '紐育' (New York) with columns for '紐' and '育' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for '市場' (Market) with columns for '市' and '場' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for '濱' (Hamamatsu) with columns for '濱' and '相' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for '大阪' (Osaka) with columns for '大' and '阪' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for '大阪' (Osaka) with columns for '大' and '阪' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for '大阪' (Osaka) with columns for '大' and '阪' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

棉花相場

一月 紐 育
日(土) 日(金) 日(木) 日(水) 日(火)

Table for '紐育' (New York) with columns for '紐' and '育' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for '山歴亞' (Shanliya) with columns for '山' and '歴亞' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for '買孟' (Buy Meng) with columns for '買' and '孟' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for '大阪' (Osaka) with columns for '大' and '阪' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for '大阪' (Osaka) with columns for '大' and '阪' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

Table for '大阪' (Osaka) with columns for '大' and '阪' and rows for months (一月 to 五月) and days of the week.

株式及金融

紐育株式市況

ニューヨーク一月二日(水)

大活況裡に蓋を開け

諸株は相次いで奔騰

新年劈頭のニューヨーク株式市場は果然大活況裡に蓋をあけ諸株は相次いで奔騰を演じた。若し本日活況を以て来るべき一ヶ月を律するならば本年の株界は實にアメリカ始まつて以來の繁榮を呈すべきものと観ることが出来る。

今諸株奔騰の直接原因をみるに舊臘末一割二分の高率に達したるコール・マネーが一割に引弛みを見せたこと、一般素人筋の思惑熱が猛然と擡頭したところである。この二者に煽られ新高値に奔騰したる株式は約四十種の多きに達した。就中最も強調を呈したのは銅株で、その内十種は新高値を現出した。又ラヂオ株は二十ドル、ゼネラル電機株は十五ドル、ゼネラル・モーターズ株は五ドルの昂騰を見せた。鐵道株も亦強硬で、ペンシルヴァニア鐵道株は過去二十五年來の高値に躍進した。なほ右以外の諸株にして五ドル乃至十ドルの上放れを演じたものは枚舉にいとまがない程である。

金融引弛 三日のニューヨーク株式市場は可成りの波瀾があつた。共々多量の商内があつた。諸株は一般に上向き歩調であつたが中には値下りを見たものも尠くない。又一部株式は買ひ聯合の策動により新高値を現出した。就中銅株が最も強調で、アナコンダ銅株の如きは百二十二ドルに上つた。一方金融状態は頗る軟調でコール・マネーは一割より七分に低落了た。

銅株新高値に躍進

ニューヨーク一月四日(金)

アメリカ銅輸出會社は銅公定賣値(ハンブルグ向)を十二月廿七日、卅一日、一月三日と続け様に二十五ポイントづつ引上げ、遂に十七セントに改正した。この結果株式取引所及びカーブマーケットに於ける銅株は四日又復大暴騰を演じ、アナコンダ、ケネコットその他の主力株は何れも新高値に躍進した。

最近の銅輸出相場及び銅株の騰貴足取りを示す左の如くである。

銅輸出相場	アナコンダ株相場
一月四日	一四四・五
一月一日	一四〇・五
十二月十五日	一三〇・五
十二月廿七日	一三〇・五
一月一日	一三〇・五
一月三日	一三〇・五
一月四日	一三〇・五

更に本年の活況豫期

ニューヨーク一月五日(土)

新年第一週のニューヨーク株式市場は初め頗る活況を呈した。これは各方面に於てコール・マネーの大暴騰を氣構えてゐたに拘らずそれが豫想より著しく低率の一割二分に止まつた爲めである。其の後コール・マネーは漸次低落して七分まで下つたが、然しそれを機會に多量の手仕舞ひが出た爲め相場は却つて區々を呈した。而して高値の諸株は著しく低落したが、然し大勢は依然騰貴歩調で、殊に

銅株は銅相場の續騰に刺戟されて頗る強調を呈した。證券市場は一般に強調活潑である。

本年の株式界見込み

次に本年の株式界の見込み如何と云ふに一般に著しく有望視されてゐる。保守的實業家中には多少警戒を勧告してゐるものもないが、然し一流大實業家は何れも本年は更にレコード破りの大活況を呈すべしと豫期してゐる。この樂觀意見の根據となつてゐるのはアメリカの偉大なる富、生産及び消費の増大、満足すべき労働状態、輸出貿易の激増等である。但し一方不安材料としては信用制度の濫用及び一般民衆間に瀰漫せる株式思惑熱等が挙げられてゐる。

十二月中の株式債券出來高

ニューヨーク一月二日(水)

ニューヨーク株式取引所に於ける昨年十二月中の株式債券出來高は九千二百八十四萬株で又債券取引出來高は二億七百三十六萬ドルである。これを過去十二ヶ月の同期及び最近十二ヶ月と比較すれば左の如くである。

十二月	一月以降累計
一九一六年	二六、八六六
一九一七年	二一、〇六一
一九一八年	一四、五五八
一九一九年	一四、三三六
一九二〇年	一四、二八五
一九二一年	一七、六三三
一九二二年	一七、四四〇
一九二三年	二〇、七五七
一九二四年	二二、〇三三
一九二五年	二二、二二二
一九二六年	四四、九一四
一九二七年	四四、九一四
一九二八年	五五、九一四
一九二九年	九〇、〇〇〇
一九三〇年	九〇、〇〇〇

債券取引高(單位千ドル)

一月以降累計

九月	十月	十一月	十二月
一九一六年	六、七〇〇	一、二五〇	一、二五〇
一九一七年	一、七〇〇	一、〇五〇	一、〇五〇
一九一八年	一、七〇〇	一、〇五〇	一、〇五〇
一九一九年	六、七〇〇	一、〇五〇	一、〇五〇
一九二〇年	六、七〇〇	一、〇五〇	一、〇五〇
一九二一年	六、七〇〇	一、〇五〇	一、〇五〇
一九二二年	六、七〇〇	一、〇五〇	一、〇五〇
一九二三年	六、七〇〇	一、〇五〇	一、〇五〇
一九二四年	六、七〇〇	一、〇五〇	一、〇五〇
一九二五年	六、七〇〇	一、〇五〇	一、〇五〇
一九二六年	六、七〇〇	一、〇五〇	一、〇五〇
一九二七年	六、七〇〇	一、〇五〇	一、〇五〇
一九二八年	六、七〇〇	一、〇五〇	一、〇五〇
一九二九年	六、七〇〇	一、〇五〇	一、〇五〇
一九三〇年	六、七〇〇	一、〇五〇	一、〇五〇

株式仲買人貸付高激増

ニューヨーク一月三日(木)

三日午後發表されたニューヨーク株式取引所月報によれば取引所會員に對する銀行の貸付額は十二月末日現在約六十五億ドルに達した。これは從來の最高記録である。十一月末日に比べてなほ五千萬ドルの増加である。この増加は豫想されたものより遙に著しいが之れによつて十二月中一般素人筋が如何に盛に株式に手を出したか、窺はれる。

倫敦株式市況

ロンドン一月四日(金)

新年第一週の株式市場に於ては工業株の活況並に優等證券類の脆りが目立つてゐる。優等證券類がイングリッシュ銀行の金流出引續きあるに拘らず脆りを呈してゐることは同銀行が金利を依然四分半に据置いてゐること、相俟つて市場に好感を興へてゐる。而して優等證券には投資目的の買物が注がれ相場は終始上向き歩調である。インド公債は稍や引弛みを見せてゐる、これは一千萬ポンドの新公債が近く發行されることになつたためである。フランス公債は同國の政界の前途が一段と好望となつたため引立つてゐる。その他のヨーロッパ公債も極めて脆りてゐる。支那公債は氣迷ひを呈してゐる。これは代理總務司エドワーズ氏の辭職を傳へたためである。日本公債は特記すべき材料なし。工業株は活況を呈してゐるものが多い、これは主としてアメリカ市場の好況を移したのである。人造絹糸株は開散ながらコートールド株は増配見越しに脆りを呈してゐる。ゴム株は氣乗薄である。

倫敦金融市況

ロンドン一月四日(金)

新年第一週の金融市況は年末の逼迫一巡とともに常態に復してゐる。イングリッシュ銀行よりの多額の借入金も大部分返済された。手形の割引市場は稍や區々を呈してゐる。

伊太利銀行利上

ローマ一月五日(土)

イタリー銀行は本日公定割引歩合を五分半より六分に引上げた。

起債額激増

ロンドン一月二日(水)

ミッドランド銀行調査、一九二八年中のイギリスに於ける新規起債額は三億六千二百五十一萬九千ポンドと、一九二〇年に次ぐ巨額に上つた。増加の主因はイギリス自國の起債が激増したためである(備考)ミッドランド銀行調査、過去のイギリス起債額は左の通りである。

英蘭銀行週報

ロンドン一月三日(木)

項目	昨年	同前
公金預金	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇
其他預金	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇
政府證券	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇
其他證券	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇
紙幣及金銀貨	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇
金銀地金在高	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇
英蘭銀行(準備)	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇
預金準備割合	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇
△印は英蘭銀行券流通高と政府紙幣流通高を合計したものである。		

最近數週統計(單位十萬ポンド)

項目	諸預	諸證	準備	金銀	銀行券
十二月廿日	一〇、七〇〇	一〇、七〇〇	一〇、七〇〇	一〇、七〇〇	一〇、七〇〇
廿七日	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
一月三日	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇

○インド新公債發行

鐵道材料購入に使用
インド政府は今回ロンドンに於て總額一千萬ポンドの新公債を發行することとなり、その下交渉が成立した。發行條件は左の如くである。

- 一、總額 一千萬ポンド
一、利率 年四分半
一、償還期限 一九二九年乃至一九三六年
一、發行價格 九十一

右は外國の起債としては近年にない大口である。なほ右手取金は主として鐵道材料購入に使用するのて、延いてはイギリスの鐵鋼業振作の一助ともなるわけである。

為替及銀塊

英國爲替市況

新年第一週の外國爲替市場は特記すべき材料に乏しい。大陸諸爲替は大體落付きを示し、相場は動きは引續き小幅である。米英爲替は氣迷ひ浮動をみせてゐる。支那爲替は引弛み。日本爲替は落付いてゐる。

○英國銀行金移動週報

Table with columns for London, Jan 3rd (Thu), and Jan 4th (Fri). Rows include gold, silver, and foreign exchange movements.

倫敦銀塊市況

新年第一週のロンドン銀塊市況に關し著名の仲買商は左の如く報告してゐる。
▲サムイル・モンタギュー商會
今週は世界各市場共新年の休日はさんでゐるため取引は閑散を呈した。支那筋は若干轉賣品を出したが一方バザール筋から少量買物が有りこれに相殺された。アメリカは引續き氣薄ながら何れかと言へば賣氣に傾いてゐる。

▲モーカッタ・ゴールドスミット商會
正月氣分で市況閑散。氣配引弛みを呈してゐる。大陸筋は少量賣つた。インドは僅かながら買つてゐる。アメリカ筋は値定め以後になつても時々賣物を出した。

○英國金銀塊輸出入額

Table showing gold and silver block import/export figures for London from Jan 2nd to Jan 4th.

○ロンドン正貨積出高

Table showing gold and silver bullion export figures for London from Jan 2nd to Jan 4th.

○十二月中の銀塊積出高

Table showing silver block export figures for December, comparing current and previous years.

○桑港より銀塊積出高

Table showing silver block export figures from Hong Kong for January 5th.

○印度通貨週報

Table showing Indian currency statistics for January 5th, including gold and silver flows.

○上海銀塊在荷高

Table showing silver block stock figures in Shanghai for January 3rd and 4th.

金物

米國金物市況

△鋼鐵 新年第一週の市況は概して落付を呈した。製鋼會社の生産は引續き多量に上つてゐる。なほ市場の形勢は少く共本年第一期、即ち一、二、三月中は極めて良好なるべしと觀られてゐる。

△錫鐵 市況落付、消費家方面への供給はなほ不十分なるため近く多量の需要が出るものと氣構へられてゐる。

△銅 ロンドン銅相場の強調に刺戟されて内地筋の需要が擡頭した尤も相場が昂がるに買物は減退してゐる。然し一部では相場は今後なほ一段高を見せるものと氣構へてゐる。一方世界の銅需要が漸次増大しつゝあることは一般産業界の好況と相俟つて銅相場が引續き好値を維持すべしとの信念を強かりしめてゐる。

△錫 昨、相場は主として海外高に伴れて上向いてゐる。

△鉛 落付。二月積の需要がぼつぼつある。

△亜鉛 年初から脱りを呈した。これは目下亞鉛の生産制限問題につき旺に論議されてゐるためである。

△安質母尼 鈍狀まぢくである

最近入荷が増加したため現物には値引きが行はれるものと觀られてゐる。

英國金物市況

イギリス工業界の前途は未だはつきりしないが、新年第一週のロンドン金物市場に於ては銅に對し引續き買物が注がれつつある。

△銅 アメリカより引續き好情報を傳へて新規の買物及び空賣りの買ひ埋めが頗る多量に現はれた。特にイギリス及びヨーロッパ大陸の消費家が各月渡しに亘つて盛に買付けてゐるのが目立つてゐる。

△錫 先頃來漸次回復に向ひつゝ、あつた人氣は十二月末の錫在荷増によつて挫かれ、相場は新規の賣物及び手仕舞賣りに押されて下落した。而して消費家よりの需要も少いがアメリカに對しては相當の商内が出来た模様である。

△鉛 人氣は著しく見直し、これに連れ新規の買物及び空賣りの買理めが出たので相場は奔騰した。

△亜鉛 買手が著しく手控えてゐるので賣物は容易に捌けず、相場は下落歩調を示した。相場下落の一因は亞鉛生産者間に於ける國際亞鉛シンドケートに關しての相談

△ロンドン鐵類相場

Table showing London iron market prices for various grades (e.g., 蘇格蘭, 東北岸) for Jan 5th and previous periods.

○十二月末金物在荷高

Table showing gold and silver stock figures in London at the end of December, comparing current and previous years.

Table showing stock figures for various metals (copper, tin, lead, zinc) in London at the end of December.

上海綿絲相場(二欄)

△華商紗布交易所大引(支那系右一六手)
一月一日(火) 一月限 六月限
二日(水) 休
三日(木) 休
四日(金) 休
五日(土) 休

過去十五ヶ年

Table showing cotton thread market trends from 1915 to 1929, including categories like 純花綿糸の初相場 and 紐育 李浦 孟買 etc.

米國生糸市況



△生糸 新年第一週の市場は閑散であつた。これは横濱市場休場中は例年の如く輸入商も絹織會社も買付を行はなためである。絹織會社の棚卸表をみるに製品の内地在荷高が従来にならぬ多額に上つてゐるものが尠くないらしい。しかし會社は茲二三週間中には各種絹織物に對し好需が出るものと樂觀してゐる。生糸取引所に於ける商内は極めて少量であつた。

△絹製品 季節關係で閑散である賣手は一二月中の市場を好望視してゐる。

△人造絹糸 不振である。

生絲集散統計

Table showing silk collection and distribution statistics for December, including categories like 輸入 高, 月末在荷高, and 工場引取高.

倫敦生絲相場

Table showing London silk market prices for various grades like 上海七里經絲, 廣東新式絲, etc.

リオン生絲相場

Table showing Lyon silk market prices for grades like 一月三日(木), 一月三日(木), etc.

羊毛



英國羊毛市況

△トツブ 新年第一週のブラッドフォード市況は落付を示し、消費家の當座の手當は大部分出來てゐるけれども需要は増加の傾向にある。而してトツブ製造業者は産地羊毛市況が引續き強調を維持すべしとみて腕りの態度を持してゐる。目下の相場は左の通りである。

油脂

英國油脂市況

△亞麻仁油 輸送中の期近物に對しては相當當内が出来たが、これ以外にはヨーロッパ筋の需要は閑散である。
△亞麻仁油 消費需要の見直しにより腕りである。
△滿洲大豆 商内なし。
△大豆油 買手と賣手が大分接近して來た。
△菜種 氣乗薄

紐育植物油相場

Table showing New York vegetable oil market prices for various types like 亞麻仁油, 菜種油, 大豆油, etc.

小麥



米國小麥市況

新年第一週のシカゴ小麥市場は世界の四大小麥輸出國(アメリカ、カナダ、アルゼンチン及びオーストラリア)の大増産といふ重荷に壓せられ相場は一九二四年以來の安値に落込んだ。アルゼンチンに於ては最近新麥が急速に出廻り増加しつゝあるが、民間の豫想によると同國の輸出餘力は二億二千二百萬ブツセルに上る見込みである。又カナダの西部三州に對する最近の民間收穫豫想は五億四千萬ブツセルと政府の前回豫想よりも六千萬ブツセル増加してゐる。これも相場暴落の原因である。一方シカゴの當業者は農村救済法案が春以前に議會を通過すべしとの期待は殆ど放棄してゐるやうである。他方輸出需要は一段と少い。

英國小麥市況

新年第一週のソヴァール小麥市況は一段と鈍状である。

上海穀相場

Table showing Shanghai grain market prices for various types like 大豆油, 花生油, etc.

砂糖

米國砂糖市況

△粗糖 新年第一週のニューヨーク砂糖市況は不振で相場は下落步調を示した。これはキューバの砂糖生産制限が撤廢され且つ新糖の出廻りが目前に迫つてゐる關係上手持筋が焦り出した爲めである。而して今週の取引出來高はキューバ糖五十萬袋、ポルトリコ糖五萬袋、フィリッピン糖(大部新糖)一萬袋、合計五十六萬袋に達したが買手は依然警戒的態度を捨てない。ヨーロッパ筋は今週キューバ糖約七萬五千袋を買つた。尚ほ市況の前途如何といふに四圍の形勢が一段と改善を見るまでは相場は入荷増といふ重荷に押されて引續き落付かないであらう。
キューバ砂糖委員會書記長はキューバ新糖の生産高は四百六十萬トンを超えざるべしと發表した。(註、ツイレット・グレーの豫想は四百九十萬トン、ランボーンの豫想は五百十萬トン、キューバ農務省の豫想は四百七十五萬トンであつた。)
△精製糖 粗糖相場が下落步調を示してゐるので一般に買付を控へんとする傾向がある。會社の精製糖賣り値は週末に五セント二五より五セント一五に引下げられた。

